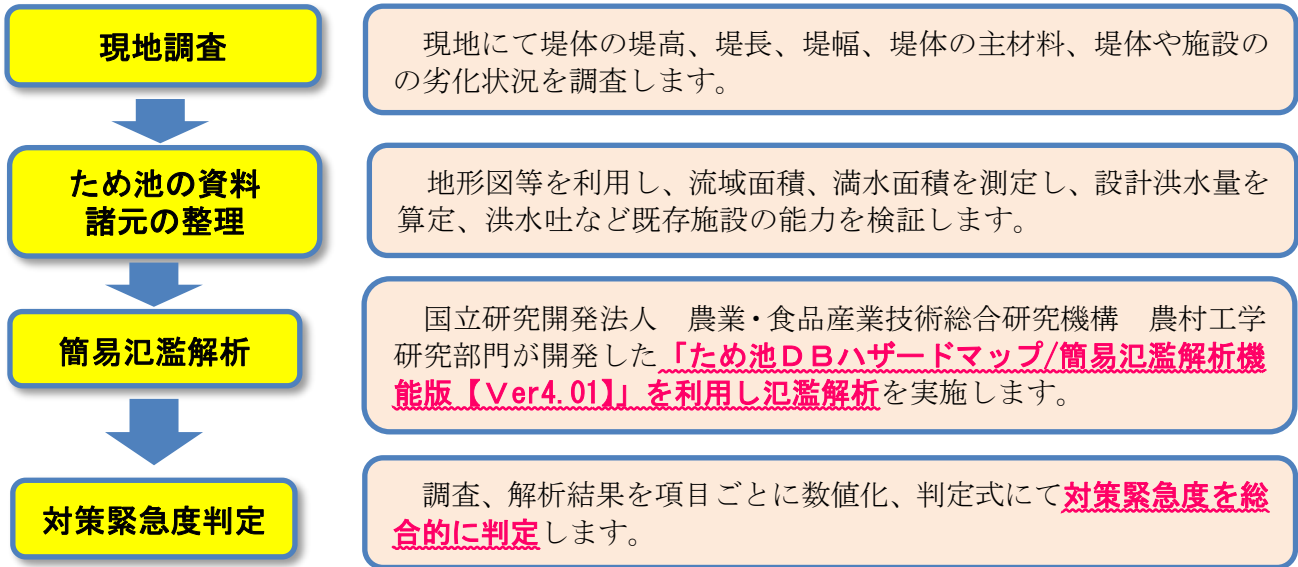


10 ため池調査・氾濫解析業務について

近年の異常気象を背景に、ため池の実態把握が急務となっています。本業務では、ため池の劣化状況の把握に加え、決壊時の被害規模をシミュレーション（簡易氾濫解析）し、対策緊急度を判定します。

(1) ため池調査・氾濫解析業務の流れ



(2) アウトプット（簡易氾濫解析図、対策緊急度判定個表）

簡易氾濫解析図

対策緊急度判定個表

項目	判定	配点	計算
堤体材料	a: 砂質土 5 b: 砂礫 3 c: 粘土 1	1	1
堤高	a: 10m以上 3 b: 5m以上~10m未満 2 c: 5m未満 1	1	1
堤長	a: 100m以上 3 b: 50m以上~100m未満 2 c: 50m未満 1	2	2
堤幅	a: 20m以上 3 b: 10m以上~20m未満 2 c: 10m未満 1	1	1
堤体形状	a: 20m未満 15 b: 30m以上~100m未満 10 c: 100m以上~200m未満 5 d: 200m以上 0	10	10
堤体不足	a: 200m以上~200m未満 10 b: 100m以上~100m未満 5 c: 5m未満 0	0	0
クランク	a: 100m以上 30 b: 50m以上~100m未満 15 c: 5m未満 0	0	0
堤体状況	a: 堤体に穴がある 30 b: パイプが埋まっている 15 c: a, b以外で健全あり 0	0	0
決壊状況	a: 決壊 15 b: 崩壊予定 10 c: 決壊（崩壊予定）あり 5 d: 有り 0 e: 無し 0	0	0
緊急対策設備	a: 有り（機能不全も含む） 15 b: 無し 0	15	15
管理年代	a: 決壊年代 10 b: 閉鎖以降 0	10	0
合計		159	40

対策緊急度判定個表

項目	判定	配点	計算
ため池形状	a: 200 60 b: 170~200 30 c: 120~170 15 d: 90~120 5 e: 10~90 0	0	0
ため池堤防設備	a: 堤防に防犯用設備がある 10 b: 堤防に防犯用設備がない 0	0	0
堤防設備	a: 堤防に防犯用設備がある 10 b: 堤防に防犯用設備がない 0	0	0
堤防設備	a: 堤防に防犯用設備がある 10 b: 堤防に防犯用設備がない 0	0	0
合計		60	5

4. 総合判定結果

緊急整備の優先度が高い	
早急な整備が望まれる	
整備の緊急性は低い	●

平成26年度、平成27年度のため池一斉点検で未調査のため池がありましたら、国の補助制度等も併せてご紹介いたしますのでご相談ください。